

佐治地域未来プラン



佐治町総合支所

令和7年4月

目 次

1	策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P1
	○計画期間	
	○進行管理	
2	地域の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P1～P2
	○位置・地勢	
	○交通アクセス	
	○産業・商業	
	○人口の推移と動向	
3	地域の特性・資源・・・・・・・・・・・・・・・・	P3～P4
	○地域の歴史	
	○地域の特性	
	○地域の資源	
4	地域の課題と取組・・・・・・・・・・・・・・・・	P4～P6
	①災害に強い佐治町創り	
	②教育環境の充実と郷土愛の醸成	
	③地域医療の確保による保健、医療、福祉の連携強化	
	④買い物環境の確保	
	⑤中山間地域の振興	
	⑥産業振興	
	⑦関係人口の創出	
	⑧地域づくりの拠点施設での地域振興	
5	めざす将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P7

1 策定の趣旨

鳥取市と合併した新市域8町は、「新市まちづくり計画（H16～H31）」、「新市域振興ビジョン」（H26～R5）を基本に、総合支所が地域振興などの役割を担い、住民とともに地域の「個性」や「魅力」を活かした特色あるまちづくりの実現に取り組んできました。

「佐治地域未来プラン」は、新市域振興ビジョンで推進してきた事業を中山間地域対策基本方針に引継ぎ、さらに佐治地域を次の世代へ発展的に引き継ぐために、将来を見据えた、地域特有の「個性」を活かしたまちづくりの方向性を示すものです。

●計画期間

本プランの目標となる期間は、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間としています。

●進行管理

目標の実現に向けた施策等の展開を図るため、佐治地域未来プラン実施計画を作成し、進行管理を行います。また、始期から2年おきに計画の見直しを行います。

2 地域の現況

●位置・地勢について

佐治町は、西は岡山県、東は鳥取市用瀬町と接し、南北に1,000メートル級の山に挟まれた西高東低の急峻な渓谷地帯で、佐治川に沿って集落を形成する東西に細長い地域です。

面積は79.89㎢で鳥取市全体の10.4%を占めています。

●交通アクセス

佐治地域の主要アクセス手段は、国道53号から国道482号線を通って佐治町に入ります。車であれば京阪神からは約2時間30分、鳥取市街地や鳥取砂丘コナン空港からは約40分、公共交通機関を利用する場合は、JR用瀬駅まで移動し、共助交通バス（予約運行）により佐治町に向かうことが可能ですが、公共交通機関での移動は不便なものとなっています。

●産業・商業

地域の主要産業である農業・林業は、高齢化や兼業化が進み、後継者不足が深刻となっています。

小売業等では、生鮮食料品や日用品を扱う買い物拠点であったトスク佐治店が令和4年10月末に閉店、佐治町内唯一のガソリンスタンドであったJASS佐治店が令和5年2月に閉店しました。さらにトスク用瀬店が令和5年9月末で閉店したため、スーパーまでの距離がさらに遠のいており、買い物環境の維持・確保が大きな課題となっています。

●人口の推移と動向

- ・人口は、平成16年の合併時は2,821人（H16.12.31現在の住民登録）
令和6年12月31日現在は1,503人、増減率は▲46.7%
- ・高齢化率は令和6年12月31日現在56.9%（855人／1,503人）
- ・人口は、市町村合併時から20年間で減少し続けています。
- ・若年者比率は、平成16年の10.3%が令和6年には4.0%に減少しています。
- ・0歳～14歳の子どもが大幅に減少、若年者（15歳～29歳）構成率の減少につながっています。
- ・高齢者比率は、平成16年の35.3%から令和6年には56.9%に上昇しています。

佐治地域の人口推移

（単位：人）

区 分	平成16年	～	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総 数	2,821		1,746	1,684	1,641	1,572	1,503
前回比	—		▲38.1%	▲3.6%	▲2.6%	▲4.2%	▲4.4%
0～14歳	293		85	79	72	69	60
15～64歳	1,533		761	711	679	626	588
15～29歳	407		123	116	111	95	88
65歳以上	995		900	894	890	877	855
65～74歳	482		381	399	386	374	353
75歳以上	513		519	495	504	503	502
若年者比率	14.4%		7.0%	6.9%	6.8%	6.0%	4.0%
高齢者比率	35.3%		51.5%	53.1%	54.2%	55.9%	56.9%

【鳥取市各地域の少子化、高齢化の状況】

令和6年12月末時点

区 分	旧市 内	国府 地域	福部 地域	河原 地域	用瀬 地域	佐治 地域	気高 地域	鹿野 地域	青谷 地域
0歳～14 歳の割合	12.7%	12.6%	10.7%	9.6%	9.5%	4.0%	10.7%	10.0%	6.9%
65歳以上 の割合	29.0%	30.6%	37.7%	40.5%	43.3%	56.9%	36.8%	41.5%	46.6%

佐治地域は他地域と比べても際立って少子高齢化が進んでいます。人口推移、少子高齢化の状況から、今後も人口減少は避けられないと予想されます。

人口減少の進行により、医療や福祉、交通、金融、買い物などの生活に必要なサービスや機能を維持していくことが困難になっています。

3 地域の特性・資源

●地域の歴史

「因幡民談記」の「筆記之部」に記されている資料によると、鎌倉時代や室町時代に佐治谷を支配域として君臨していた土豪尾張氏（佐治氏）を中心として佐治谷のいくつかの村が誕生し、遺跡等も数多く存在します。

このような時代背景から明治22年（1889年）に町村制が施行され、3つの村（口佐治、中佐治、上佐治）が誕生し、明治43年1月1日（1910年）より旧3村は新しく「佐治村」として合併しました。

さらに、平成16年11月には1市8町村の市町村合併により、新生「鳥取市」が誕生し、「鳥取市佐治町」として現在に至っています。

●地域の特性

- ①佐治町は、本市の南部に位置し、岡山県と国道482号線によってつながり、岡山県と人の交流や物流がなされることで、本市の重要な南の玄関口となっています。
- ②主要産業は、豊かな自然に恵まれ、山地傾斜地を利用した二十世紀梨の栽培や榊、みつまたを主原料とした因州和紙の生産であり、佐治地域ブランドとして全国へ発信しています。
- ③さじアストロパーク、和紙工房「かみんぐさじ」は、佐治町観光の中心となっており、一度は訪ねてみたい本市の観光拠点として、観光客誘致の一翼を担っています。
- ④「星」「梨」「和紙」「話」「石」の佐治「5し」を地域資源として活かした地域づくりに取り組んでいます。

「5し」のひとつ「佐治谷話」は、早合点による失敗談、現実にはあり得ない法螺話、相手を智恵で負かし留飲を下げる頓知話など、当時の佐治の日常にありそうな話をまとめたもので、面白おかしく後世の人々に口伝えで引き継がれてきた、地域の大切な文化資源です。これまでの粘り強い保存・伝承の取り組みにより、平成16年（2004年）には語り部である「さじ民話会」とともに鳥取市無形民俗文化財に指定され、全国に誇れる「民話」として発信し、地域活性化にも貢献しています。



●地域の資源

区 分	主なもの
特産品	二十世紀梨、新甘泉、どぶろく、因州手すき和紙
観 光	さじアストロパーク、和紙工房かみんぐさじ、佐治歴史民俗資料館（「ふるさと歴史館」、「民話の館」、「展示館」）、たんぼり荘、山王滝、山王谷キャンプ場、三国ヶ山、高鉢山、三原台
イベント	佐治ふるさと祭り、さじアストロパークイベント（星祭、月祭、雪祭、クリスマスコンサート）、さじ市（まち協主催）

4 地域の課題と取組

① 災害に強い佐治町創り

自助・共助・公助による住民と行政が一体となった災害対策を推進します。短時間かつ限られた地域での豪雨など、これまでの想定を超える自然災害による被害や、新たな感染症への対応など様々なりスクに対する危機管理体制の強化と、住民の防災意識の向上を図るため、住民ひとりひとりが避難行動計画を立てるマイ・タイムラインや、支え愛マップの作成等、地域住民が中心となった防災・減災に対する取組を支援していきます。

また、消防団佐治地区団の団員の確保が困難になっており、2つの分団の機能維持が難しくなっています。分団を統合するなど再編の検討を進めます。

②教育環境の充実と郷土愛の醸成

小学校・中学校・保育園と家庭・地域が連携し、地域社会全体で子どもたちを支え見守っていきける体制づくりのため設置された、「千代南中学校区地域支援ネットワーク連絡協議会」及び「佐治小学校地域創造運営協議会」などでの活動を通じて地域の教育力向上に向けた取り組みを推進します。

また、ふるさとの自然や産業、文化の良さを学ぶことによりふるさとへの愛着と誇りを持つことができるなど、地域での特色ある教育活動を推進します。

③地域医療の確保による保健、医療、福祉の連携強化

県下で有数の過疎地域である佐治町にとって、医療の確保は重要です。本市で唯一国民健康保険診療所（医科・歯科）が設置され、医師の派遣を受けています。国保診療所の継続と充実が安全・安心な暮らしの絶対必要条件です。

今後は、オンライン診療や処方薬の配送等、利便性を高める取り組みを検討します。

④買い物環境の確保

佐治町では急速な高齢化の進行に加え、令和4年にトスク佐治店が閉店。令和5年にはJASS佐治店、トスク用瀬店が閉店し、買い物などの利便性が著しく低下し住み慣れた地域で安心して暮らし続けるには様々な対策・支援が必要です。

現在のところ、買い物の不便な方に対する移動販売事業を町内の第三セクター企業が運営し対応していますが、仕入先が遠くなるなど新たな課題も発生しています。

固定店舗の誘致やICTを活用した注文配送の可能性など、多角的な対策を検討

し、地域ニーズに合致する事業を充実させることが必要です。

⑤ 中山間地域の振興

佐治町では、地域の宝である「星」「梨」「和紙」「話」「石」の「五つ」の資源を活かした地域づくりに取り組んでいます。事業の推進母体である「五しの里さじ地域協議会」は田舎暮らし体験や林業体験などによる体験滞在型観光※事業を推進しています。

今後協議会の育成支援、さじアストロパーク」を拠点とした県の星取県事業と連携した事業推進、また、グリーンツーリズムの拡大、佐治谷話の保存・伝承など一丸となった地域振興を推進します。

地域振興に必要なさじアストロパーク、かみんぐさじ、民俗資料館、山王谷キャンプ場等の施設の維持・更新を図ります。

⑥ 産業振興

〔農林業の振興〕

佐治町の農林業は、高齢化による担い手不足の進行、農産物、木材などの安価な輸入品の増加による競争力の低下などにより不安定な経営状況です。

このため、廃園や耕作放棄地が急激に増加しています。

人口の急減に直面している佐治町においては、地域産業の担い手を確保することが重要です。季節毎の労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事する労働者派遣等を行う「特定地域づくり事業」について検討を進めます。

また、新たな農林特産物（漆やブランド米等）の掘りおこしや、特産物（梨等）の有利販売事業の取組など過疎地域の活性化を図るため、地域の特色ある資源を活用した産業振興を進めることが重要課題です。

〔和紙産業の振興〕

佐治町の和紙は伝統工芸品として全国で最初に産地指定を受け、地域ブランドとして全国に発信しています。しかし、近年は外国産の和紙等に押され、経営的に不安定な状況にあり後継者の育成も困難になっています。

今後は新たな事業展開など、斬新な取組を行い需要の拡大を図るとともに、後継者の育成やU・Iターンによる新たな人材を受け入れ、青谷町と協同で全国級のイベントを開催するなど因州和紙の認知度を高め、和紙の利用拡大に努める必要があります。

〔脱炭素先行地域の取り組み〕

令和5年4月28日に鳥取市は脱炭素先行地域に選定され、佐治町の豊かな自然を利用した小水力発電やバイオマス発電の導入によって脱炭素化を図るとともに、付随する新たな産業の振興が期待できます。

⑦ 関係人口の創出

これからも暮らしを守り地域コミュニティを維持し、持続可能な地域づくりを目指していくための一つの方策として、関係人口の仕組みづくりと活用に取り組むことが必要です。

新たな地域おこし協力隊の形「地域おこし協力隊DAO※」を活用した関係人口の創出、地域の魅力発見、SNSによる情報発信、DAOコミュニティによる地域課題の解決を推進していきます。

また、関係人口を受け入れるための滞在場所・宿泊先等として、未活用の公共施設や空き家等を最大限活用し、佐治に魅力を感じた方が、移住先や多拠点生活の場として考えてもらえる環境も整えていくことも重要です。

※DAOとは、メンバー全員が対等な立場で意思決定に関わり、それぞれの能力を最大限に発揮できる場を提供するものです。先進的なテクノロジーを活用することで、透明性が高く、効率的な運営を実現することが出来ます。

⑧ 地域づくりの拠点施設での地域振興

人口減少や高齢化が進行しても安心して佐治町に住み続けられるように地域課題の解決に向けて取り組む NPO 法人「さじ未来」が、地域づくりの拠点施設でもある佐治町コミュニティセンターの指定管理を行うことによる施設の適切な管理業務と、地域課題に対応したさまざまな事業を支援していきます

【優先的に取り組む事項】

1. 防災・減災に関する取り組み

○災害に強い佐治町創り事業実行委員会への活動支援し、マイ・タイムライン、支え愛マップの作成を通じて、避難行動・防災・減災の意識づけ。

2. 買い物環境・地域医療に関する取り組み

○移動販売・見守り事業への支援

○タブレット・スマートフォン等インターネットを利用した買い物環境の構築、オンライン診療、処方薬の配送、コミュニティの強化。

高齢者へのタブレット操作支援により普及を促進。

3. 歴史・文化の保存と次世代への継承

○伝統行事の保存・継承

○伝統文化、行事の年間を通じての情報発信

○地域活性化イベントの開催

4. 地域産業の担い手確保の取り組み

○特定地域づくり事業(季節毎の労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事する労働者派遣等を行う事業)について検討。

5 めざす将来像

五つのし（資）源を活かした、「いいさじかげん」のまちづくり

恵まれた自然環境を有する佐治町は、居住の場としてはもとより、農林業の生産の場や体験の場、自立した地域コミュニティを維持するための定住の促進や農林業の生産力の強化、地域の大部分を占める山林や農用地が有する水源かん養※などの機能維持・保全など、多くの重要な地域的使命と役割を担っています。

佐治町の将来像として「5し」の地域資源と地域特性を活かし、地域の伝統や文化、歴史が未来の世代へと引き継がれるよう、地域振興を目的として住民と行政が協働のまちづくりに積極的に取り組み、一人ひとりが健康でいきいきと輝き、自然環境や地域の個性がきらめき、将来においても安全・安心で快適に暮らせるさまざまな生活環境が整ったまちの実現をめざします。